

数字から見えてくる神奈川県教育事情 暴力・いじめ・不登校

県政報告第91号



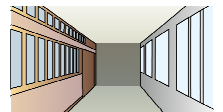
神奈川県会議員 山口ゆう子です。

◇暴力行為発生件数

神奈川県 7,301件(公立小・中・高)
横浜市 2,080件(公立小) 1,826件(公立中)

◆公立小(市内)は前年度より425件増、公立中は219件減

都筑区 ? 件(公立小) ? 件(公立中)

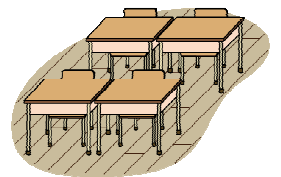


◇小・中学校不登校児童・生徒数

神奈川県 8,924人(公立小・中)
横浜市 1,029人(公立小) 2,338人(公立中)

◆公立小(市内)は前年度より91人減、公立中は270人減

都筑区 ? 人(公立小) ? 人(公立中)



◇いじめ認知件数

神奈川県 7,916件(公立小・中・高・特別支援学校)
横浜市 1,343件(公立小) 509件(公立中)

◆公立小(市内)は前年度より438件減、公立中は157件減

都筑区 ? 件(公立小) ? 件(公立中)

◇高等学校長期欠席(公立校) **おかしい!**

神奈川県 6,727人 ◆前年度より218人減



どうして、今年は都筑区の人数を「横浜市教育委員会」は教えてくれないのか??
理由は、下記のごとく、統計が目的なのか、それとも……
都筑区にお住いの皆さま、どう思われますか! その知りたい。

横浜市教育委員会によると

都筑区はいじめ、不登校の認知件数を公表できない理由

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査は、統計法に基づき実施されており、統計法第40条には「統計調査の目的以外の目的のために、当該統計調査に係る調査票情報を自ら使用し、又は提供してはならない」と規定されているため、公表できない。

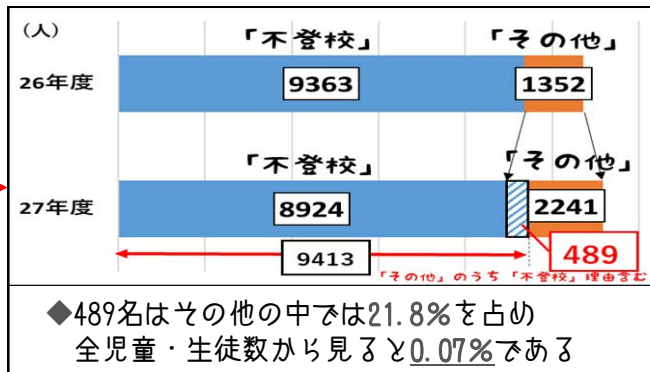
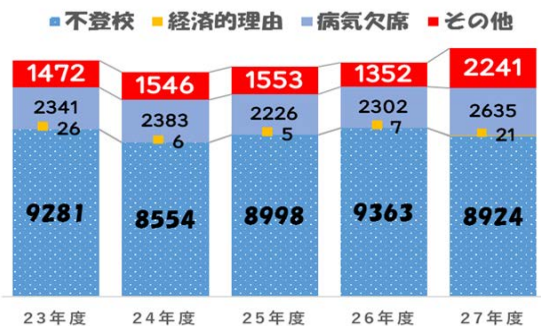
なお、文部科学省の「調査実施要項」には「都道府県教育委員会等は、当該都道府県等についての調査の結果を文部科学省の公表後に公表することができる。ただし、文部科学省が都道府県別に公表している項目に限る」とある。

県内公立校「長期欠席者」推移

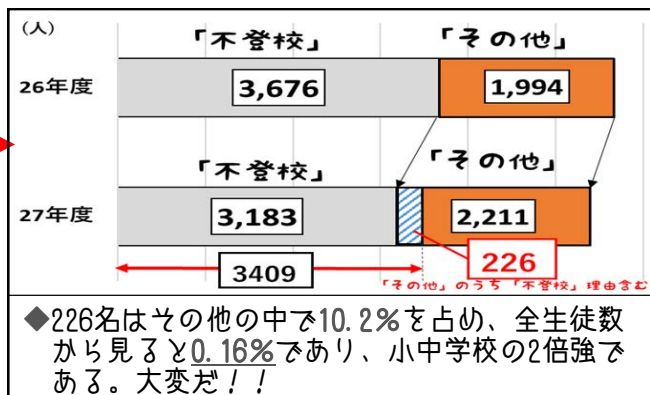
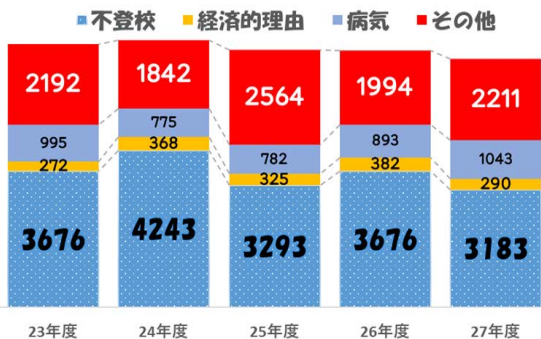
(人)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
公立小・中学校	13120	12489	12782	13024	13821
内「不登校」	9281	8554	8998	9363	8924
[全児童・生徒数]	677226	672971	670158	667037	664426
公立高校(全日制及び定時制)	7185	7228	6964	6945	6727
内「不登校」	3676	4243	3293	3676	3183
[全生徒数]	180846	182959	184003	187315	188501



◆公立小・中学校の場合は



◆公立高等学校(全日制+定時制)の場合は



*「その他」とは、欠席理由のうち ①欠席理由が二つ以上あり(例えば「不登校」と「病気」、「経済的理由」と「病気」など)主たる理由が特定できない者。②何らかの家庭の事情(例えば「外国での長期滞在」「保護者の教育に関する考え方」「家族の介護」「家事手伝い」等)から長期欠席をしている者。今年度、国の調査で、①の類型が強調されました。

しかし調査で類型が強調され、わかったことは、「学校だけでは解決できない」・・・ということ。打っ手はあるのか!! 考えているのか? ?

全国から見た神奈川県は(国・公・私立学校)...

◆いじめ (小・中・高・特別支援学校) 認知件数では、6番目に多い。

◆暴力行為 (小・中・高等学校) 発生件数は、2番目に多い。

◆不登校(小・中学校) 児童・生徒数は、4番目に多い。

◆不登校(高等学校) 生徒数は、3番目に多い。

※子どもの数が多いことも事実ではあるが、決してほめられた数字ではない。

特に、いじめの重大事態の発生件数は、4件(小学校1件、中学校3件)あったことは、痛ましい。



山口ゆう子

神奈川県議員

- 文教常任委員会
- 三期目
- 都筑区選出
- 岡山県生まれ

事務所

〒224-0041

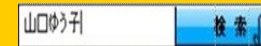
横浜市都筑区仲町台1-23-13

TEL:045-948-3465

PCアドレス :change@yuko-yamaguchi.com

iPadアドレス

y-yuko@i.softbank.jp



新たな取り組みが必要だ。

